

## 科目区分（学校教育に関する科目）

### 授業題目 「テスター、レポーター、アセサー機能を磨くこと」

教育実践総合センター 夏野良司

はじめに

臨床心理面接、臨床心理査定、臨床心理的地域支援、臨床心理に関する調査研究が臨床心理士の4大業務とされる。その中でクライアントに対する直接的な支援が臨床心理面接と臨床心理査定であり、業務全体における査定（アセスメント）のウエイトはとても大きい。とりわけ、今日の発達障害や認知障害の支援においては、臨床心理的査定業務は非常に重要であり、臨床心理士の査定の力量形成が急務である。

本授業は、前期の臨床心理査定演習Ⅰに続き、投影法的手法をとる検査法を扱うものである。また、後期に集中講義で行われる投影法特論のロールシャッハ検査の学習ともリンクしており、授業の後半はロールシャッハ検査の実施と結果のスコアリング集計までを扱う計画となっている。

#### 【授業担当者】

臨床心理学コース専任教員 2名

#### 【方法・対象】

（対象）授業は、学校臨床心理専攻臨床心理学コースの必須科目に当たり、受講生は臨床心理学コース12名。

#### 【検査】

心理臨床の実際において使用頻度の高い検査法を取り上げる。テスターとして施行し、臨床心理的所見をレポーターとして作成する知識技術を習得させる。どの検査もまず学生が被検査者の立場で自己データの分析することで、投影法による査定で重要なアセサーとしての「解釈」即ち「理解」力を養う。

今回、実施した検査は、バッテリー法（5因子検査FFPQ、YG性格検査、精神健康調査GHQ、

東大式エゴグラムTEG）、投影法（ロールシャッハテスト、主題統覚検査TAT、絵画欲求不満検査P-F、文章完成法テストSCT、樹木画検査）である。

#### 【授業スケジュール】

- 1 オリエンテーション
- 2 人格査定とバッテリー法
- 3 人格査定：5因子論と自我構造
- 4 樹木画テスト
- 5 文章完成法テストSCT
- 6 絵画欲求不満検査PF（1）
- 7 絵画欲求不満検査PF（2）
- 8 主題統覚検査TAT（1）
- 9 主題統覚検査TAT（2）
- 10 ロールシャッハ（概説）
- 11 //（施行法演習）
- 12 //（テスト施行）
- 13 //（スコアリング演習）
- 14 //（スコアリング演習）
- 15 まとめとアンケート

#### 【結果】

回答者全員12名、自由記述式によるアンケートである。回答は、いくつかの観点で整理すると以下のようであった。

#### （授業内容）

- ・投影法という心理士にとって必須のテストをじっくりと時間を掛けて学ぶことができた
- ・投影法についての曖昧な理解をしっかりとした理解につなげてくれた内容だった
- ・一個一個の検査について体験的に学ぶことができた
- ・TATも非行臨床で利用されることも多いことから、解釈法についてより深く学びたい

- ・自分の結果について分析してほしい
- ・テストバッテリーの組み方についてもっと知りたい

#### (授業方法)

- ・テスター役割を取って模擬的に検査実施できたことは将来役にたつと思う
- ・ワークが多く検査に対する具体的なイメージや留意点が理解しやすかった
- ・様々な心理検査を実際に体験できたことはとても学び多いものだった
- ・心理テスト実習は、学部時代に経験していないので自己分析にもつながりとても有意義だった
- ・自分がテストを受けられたのはとても有意義だった
- ・ペアやグループでテスター、テストティを交代しながら体験できたことも理解につながった
- ・種々の検査を実際に自分がやってみることで、テストティの気持ちを感じることができ、検査のもねらいや意図がイメージすることができた
- ・色々なテストを実施できてよかった、特にTATははじめてだったが、テストティ体験は面白かった
- ・テストティとしての体験をすることが今後実際の臨床でテストティのしんどさや難しさがよく分かると思う
- ・授業内だけでは時間が足りないので、宿題にできる部分は宿題に廻す方法もあると思う
- ・検査毎に毎回レポートを宿題にだしてほしかった

#### (授業場所、時間、運営方法等)

- ・バウム、SCT、TATは、もっと時間がほしかったロールシャッハは投影法特論の集中講義と合わせてたっぷり時間がとってあったので、じっくり学ぶことができた
- ・心理検査については、もっと授業時間を多く取ってもよいと思う
- ・3限目と4限目の休憩時間は10分でよい
- ・3、4限続いていることで、実施と解釈を振り返ることができよかった
- ・2コマ連続で授業が組まれているの時間に融通

が付けられ、どのテストも最後まできっちりと実施できて勉強になった

- ・実習作業の時には、グループ同士の距離が近く集中できないこともあった

#### (使用テキスト、教材、資料等)

- ・解釈についての事例の資料がもっとほしい
- ・解釈についても、もらった文献を足がかりに自分で勉強を進めていくことができる
- ・解釈についても多くの資料をいただいたので、授業外でも見直すことができ勉強になった
- ・資料を沢山配布されたのがとても参考になった
- ・印刷資料は厳選されていて助かった
- ・すべてのテストにおいて実物に触れることができたのは非常に勉強になった
- ・テスト毎に複数の専門家の文献を配布されたので偏らない考え方ができたと思う
- ・必読資料を配布してもらえて各心理検査のエッセンスが吸収できた
- ・バウムテストでは具体的な沢山の実際の検査資料をみせてもらえてわかりやすかった
- ・実際にこれから使える文献資料をいただいたので、生かしていきたい
- ・検査毎にデモのビデオが見たかった

#### (その他)

- ・素人にはできないことなので、心理の専門家を目指す者として知識をもっと深めたい
- ・十分に検査内容の一つ一つを理解していないことに気がついた時間をかけて再確認します
- ・クライアントの条件に応じた適切な検査の活用の仕方をこれから考えていきたい

#### 【まとめ】

本授業では、扱う検査の数はかなり多く、一つ一つに掛ける時間が不足しがちであるが、アンケートでは、色々な検査を扱うことにはポジティブな評価であった。被検査者体験にも同様にプラスの評価である。可能なら、どの検査でも自己のデータを採り分析しレポート作成する作業が望ましい。